



学校だより

令和6年度 3月号

令和7年 2月 28日発行
東京都立足立特別支援学校長

鈴木 常 義

〒121-0061 東京都足立区花畑 7-23-15

電話 03-3850-6066 (代表)

公開授業研究会

研究研修部 山崎 敏子

<研究テーマ>

3年間指導計画に基づく教材づくりとスマート・スクール端末を活用した授業展開
～中・重度障害生徒へのアプローチと体育健康教育推進校としての取り組み～

2月13日(木)、短縮授業とし、公開授業研究会を実施いたしました。昨年度から引き続き、今年度も都内・外の特別支援学校、足立区の中学校や大学院・企業など様々な方々に御来校いただいて開催することができました。

昨年度から継続して取り組んできた、一人1台の「スマート・スクール端末」を活用した授業として、普通科2年の国語と職能開発科2年の保健体育の2つの授業を公開しました。国語の授業においては、中・重度障害生徒への端末の活用を試みた結果を検証し、授業改善を図りました。また、本校は昨年度より「体育健康教育推進校」の指定を受けており、保健体育の授業公開については最終年度の取り組みの「成果発表」も兼ねております。

助言者である東京学芸大学の平田正吾准教授、池田吉史准教授のお二方からは、スマート・スクール端末の活用がセルフモニタリング(メタ認知)として自らの行動に注意を向け、より適切なものに修正し、他律から自律への移行のカギとなること、また、そのセルフモニタリングの支援のポイント等についての助言をいただきました。また、スマート・スクール端末を一つの教材として捉え、言語行動を引き出す「心の道具(Tools of the Mind)」(20世紀初めのロシアの発達心理学者のヴィゴツキーの発達観に基づく)の1つとして役立つセルフモニタリングを明確にできるといった心理的に有用な方法であることなど、様々な観点からも助言をいただきました。今後も自立と社会参加に向けた充実した教育活動を展開できるよう、授業研究を継続していきたいと思っております。引き続き、本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、今年度も会場設営や実践報告集の印刷など、職能開発科の生徒の皆さんに御協力いただきました。皆さんに快く引き受けていただいたことに心より感謝しております。ありがとうございました。

